

【資料①】

『ペーパー・リライ』初校ゲラ(河出書房新社刊)より



「今日さあ、ここ泊るんだ」
 モダンでシモンズベッド入ってる。アメニティもブランドもの」
 キヨエが目だけこちらにやって、うーん、と低い声を出した。
 「気に入らない? こういうところがいいとか、リクエストあれば他探すけど」
 「気に入らないわけじゃないけど……」

「なに?」

「高いでしょ、そこ」

それが理由か。なーんだ、と笑う。

「キヨエ、あれ忘れてるでしょ」

後部座席に置いた紙袋を(あ)でしゃくって示す。

縦長の紙袋は、スポットライトを当てられたように白く神々しく光り輝いている。家に

あるお金を(せんぶ)突っ込んできた。少なくとも五百万はある。

「宿泊代見ても?」ひとり二、三万でとこだよ。今のあたしたちがビビる額じゃないって。

むしろじゃんじゃん遺っていかないか。あと一週間もないんだから」

「でも」

「半分以上はキヨエのお金。残りも、なるべく遺っていかうって決めたじゃん。キヨエが

やられたこと考えたら、このぐらい慰謝料の範疇(はんちゆう)だつて」

キヨエはどう言ってもお金を(遣)い込むことに抵抗があるみたいで、昨日も宿泊場所で

散々揉めた。

そうして、キヨエの(意志)を尊重した結果、日暮れまで宿が見つからなくて、あの海沿い

の古い民宿に泊まることになった。

あたしはそれでもいいけど、キヨエはもう勘弁こうむるだろう。そう力説したら、虫事

「あーん」
 (P11)

OK

P11とP50はシャープな印象
 持たせたので漢字にしてます?

ペーパー・
 リライ

思

「あーん」
 (P11)

あーん
 (P11)

あーん
 (P11)